

平成 2 5 年大磯町議会

6 月定例会一般質問（6 月 1 0 日・1 1 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答弁者
1 2 番 二宮加寿子議員 (60 分) 9:05～10:05	1. 元気な高齢期を過ごすための施策は 今年 4 月から 10 年後の日本を見据え国民の健康指標を定めた「健康日本 21」第 2 次がスタートした。平均寿命の延びを上回る「健康寿命」が掲げられている。それに対する考えを問う。 (1) がん検診率向上への施策は。 (2) 生活習慣の改善への施策は。 (3) 街区公園に高齢者の運動機能の維持を目的にストレッチ器具を設置し、コミュニケーションの場とする考えは。 2. 心の健康づくりと教育について いじめや虐待、自殺、心の病などが急増している。社会的弱者に寄り添う心のケアに有効な治療法として注目されている認知行動療法の体制と学校現場での対策を問う。 (1) 認知行動療法の講演会開催後の町の取り組みへの考えは。 (2) 教育現場においても、先進的にこの療法を導入している市町村があるがいかがか。 3. 環境に配慮した観光のまちづくりについて 自然や歴史資源を生かした日帰り観光のまちとあるが、歴史、文化、自然に触れる施策は。 (1) ユニバーサルツーリズムの考えは。 (2) エコ・ツーリズムにおける大磯町環境基本計画の環境行動指針に基づく環境配慮、緑化の推進の考えと現状は。	町 長 町 長 教育長 町 長
2 1 1 番 吉川 重雄議員 (90 分) 10:25～11:55	1. 町の再生可能エネルギー政策を問う 2011 年 3 月に発生した東日本大震災に伴い、原発事故は私たちの生活スタイルにも大きな教訓を与えることになった。今の私たちの大量生産・大量消費というライフスタイルは、大きな転換を図らなくてはならないとの警告を発したことになる。 そこで行政としての再生可能エネルギーに関する施策を積極的に進めることが求められていると思うが、施策推進への見解を問う。	町 長

	2. 職員の健康管理は万全か 最近、町幹部職員の体調不良者が多くなっていることに対して、大変大きな危惧を持っている。職員の健康なくして、町民への行政サービスは向上しない。町民にとってマイナスである。 もっとしっかりした健康管理がなされるべきと思うがどうか。特に、以前より問題となっている残業のマンネリ化に対して、どんな対応を考えているのか。今までの考えでよいと思うか、町長の認識、見解を問う。	町 長
3 1 3 番 坂田よう子議員 (60 分) 13:00~14:00	1. 「創年の年」重点事項に関する初動状況を問う 町は、今年度の施政方針において、観光・子育て支援・健康づくり・廃棄物対策・危機管理対策の5政策を重点事項と掲げ、これまでの改革からの取り組みを発展させるべく、25年度を「創年の年」と定めた。既に、予算、人事共に整い、25年度が始まっている。重点項目に関する初動体制は、施政方針に沿い順調に始動されているか。 (1) 観光政策について、「新たな観光の核づくり事業」の始動、町民と協働の事業展開、及び、地域活性化と安定した経済基盤の創造に関する所信を伺う。 (2) 子育て支援政策について、前年度から始まった「子育て卓話」における課題解決・要望等の総括と展望、及び「子ども・子育て関連3法」に関する所信を伺う。 (3) 健康づくり政策について、「おあしす24」を通した予防医学への啓発、及び普及促進、健康増進活動に関する所信を伺う。 (4) 廃棄物対策について、広域化への本格稼動に際し、経費削減の効果、分別方法の徹底、減量化・資源化等、町民への的確な周知が求められる。その初動状況を伺う。 (5) 危機管理対策について、職員の危機管理意識の向上、町民と関係機関の情報共有の徹底化等、具体的な取り組みが期待される。その初動状況を伺う。	町 長 教育長
4 7 番 竹内恵美子議員 (60 分) 14:20~15:20	1. 今、国では子どもたちの教育について、週休2日制から以前のように変更しようとしている。 すでに実施しているところもあると聞いている。神奈川県、本町での考えは。 (1) 本町での不登校率は。 (2) 中1ギャップの出現率は。	町 長 教育長

	(3) 本町の週休2日制から週休1日にする考えは。 (4) 先日全国的に行った学力テストの結果については。 2. 昨年9月の一般質問で、本町では平成26年度より介護事業の中でボランティアポイント制度を進めると答弁があったが、進捗状況はいかがか。	町 長
5 15番 清水 弘子議員 (60分) 15:40~16:40	1. 鳴立庵西側の葬儀場建設の白紙撤回を (株)サン・ライフによる(仮称)大磯ホール計画は葬儀場を建設するもので、鳴立庵という歴史的建造物であり、観光名所の隣にはふさわしくないと考える。 国道1号線で、通学路であり、交差点もあり、交通安全上問題である。町もこの用地を買収したいと交渉している。事業者と住民との協議が十分なされていない。 5月1日に町は指導書を事業者に交付、事業者は5月20日に開発事業申請書を提出したと聞いている。 住民は建設に反対している。町のその後の交渉は。 2. 石神台3丁目の開発計画について 石神台地区は(株)神奈川中央交通により開発された。その周辺も市街化区域であることから、住宅開発がされている。しかしながら、規制を受けないミニ開発は入居された方にも、よう壁が傾くなど問題が多いと聞いている。 今後は公共下水道の接続により、一層の乱開発が進む可能性がある。乱開発防止策を考えていただきたいが。 3. 高齢者が安心して暮らせる施策を問う (1) 都市部で特別養護老人ホームの施設不足が問題になっている。大磯町での社会福祉法人特養恒道園への待機者の数は。 (2) 認知症対応型通所介護利用状況及び見込み数は現状の施設で十分か。 (3) 小規模多機能型居宅介護施設は第5期計画期間内で充実させるとあるが、具体的にどこまで進んでいるか。	町 長 町 長 町 長

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答 弁 者
6 12番 関 威國議員 (60分) 9:00~10:00	1. 通学路における緊急点検と安全対策は 平成 24 年 4 月に京都府亀岡市の府道で、集団登校中の児童 9 人と保護者の女性 1 人の列に、無免許の少年が運転する車が突入する事故を始め、登下校中の児童などが死傷する事故が連続して発生した。 文部科学省、国土交通省及び警察庁が連携し全国の公立小学校の通学路について、安全確保に向け緊急合同点検を実施した。昨年 8 月末まで対策必要箇所抽出、11 月末に対策案の策定、対策案の実施は平成 24 年度から順次実施になっているが、本町の進捗状況を問う。 (1) 緊急合同点検の実施状況。 (2) 対策必要箇所と安全対策。 (3) 安全対策を実施するにあたっての問題点。 2. 風疹が大流行し国の対策不備が浮上したが、町の緊急対策は 国立感染症研究所は全国で風疹と診断された患者数は 5 月 12 日までに 6,725 人と発表した。去年の一年分の 3 倍に迫る勢いで感染症の拡大に歯止めがかかっていない。 妊娠初期の女性がかかると、赤ちゃんに障がいが出るおそれがあり、今回の流行ですでに 10 人の赤ちゃんが「先天性風疹症候群」と診断されている。 黒岩知事は 4 月 16 日に風疹非常事態を宣言し、市町村に補助金の活用を呼びかけた。町長は 4 月 25 日に風疹の流行に伴う緊急対策について、記者発表をしたが、その内容を問う。 (1) 大流行している原因。 (2) 緊急対策の具体的な内容。 (3) 予防接種の助成事業の予算、補助金など。 (4) 過去の予防接種制度上の問題もあるが、国への要望は。 3. 平成 25 年度の鳴立庵整備事業で手摺は整備されるか 鳴立庵整備事業として、820 万円計上されているが、手摺は整備されるか。 今年 3 月の一般質問で、高齢者が安全で安心して移動しやすいように、手摺の整備について質問した。 鳴立川に架かる石橋の欄干は高さ約 30cm しかなく落下の危険があり、また、法虎堂前の階段は手摺がなく高齢者は上がるのに苦労している。	町 長 教育長 町 長 町 長

